

掴め君の未来を！

令和2年9月号

慶進中学校・高等学校
進学指導部
令和2年9月1日発行

9月です。危険なまでの猛暑が過ぎ去り、少し過ごしやすくなりほっとしますが、受験生にとっては暑い涼しいどころではなくピリッと身が引き締まる季節の到来です。夏休みが終わると（短かったけれど…）空気が一変、「とうとう今学期から受験が始まる！！」と一気に入試が近づくのが9月です。

しかし早いものです。今年は「コロナ色」というイメージですが、自粛、休業を経てもう半年以上が経ち、新しい生活スタイルが身についてきましたね。苦しく窮屈、でも上手に付き合いながら、受験を乗り切りましょう。そして、次のステージへ。あと少しの間、頑張っていきましょう。

いよいよ入試スタート！ 出願に関するスケジュール

9月

10月

11月

12月

- ☆国公立大・指定校・姉妹校推薦**校内選抜**
①実力テスト ②学校面接 ③発表
- ☆**総合型選抜**出願開始
入試連絡票を記入して担任に提出
- ☆**大学入学共通テスト**の出願
①受験案内配布・説明会
②受験票記入・受験料納入 ③提出
④出願（学校から）
- ☆**学校推薦型選抜**出願開始
出願書類の他、①入試連絡票
②推薦願書 ③募集要項の出願に関するページのコピー
を担任に提出
- ☆一般選抜の募集要項取り寄せ開始
- ☆大学入試共通テスト確認はがき配布（学校から）
氏名などの個人情報の確認・受験科目の最終確認
- ☆受験に関する説明会
大学入試共通テストの受験票配布
大学入学共通テストの受験会場や日程、
持参物、受験後の日程などについて説明
- ☆一般選抜の出願開始（私立大）

各大学の受験要項は、各自で取り寄せ、出願も各自でします。(総合型選抜・学校推薦型選抜・一般選抜)ただし、指定校推薦・姉妹校推薦の出願書類は学校で取り寄せます。

共通テストの受験票は、学校で配布・説明し、下書きをします。各家庭で清書と受験料納入を済ませて学校に提出します。

出願前にいったん担任に提出し、学校でチェックを受けます。必要書類をそろえて、出願したい日の2週間前には担任に提出しましょう。

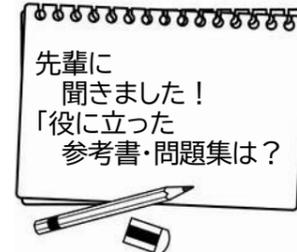
一般選抜の募集要項は、私立大は10月中旬、国公立大は12月中旬ごろから配布が始まります。国公立大も、年内には取り寄せておきましょう。共通テスト後1週間で出願が始まります。

出願後に、確認のためのハガキが学校に届きます。配布されたら、氏名や受験科目など、自分が受験届に書いた内容と一致しているかどうかを確認し、間違いがなければそのまま。間違いがあれば訂正し、学校に提出します。

受験票は冬休み前ごろに学校に届きます。届いたら、受験に関する説明会を開きます。配布された受験票は、共通テスト当日持参します。大事に保管しましょう。

9月の進学スケジュール

- 2日(水)・3日(木)** 高3実力テスト
- 7日(月)・8日(火)**
指定校推薦競合大学等学校面接
- 9日(水)・10日(木)**
大学入学共通テスト出願説明会
- 11日(金)・12日(土)**
ベネッセ駿台共通テスト模試
- 17日(木)** 校内選考結果発表[第1回]
(国公立大学・短期大学推薦、指定校推薦)
- 23日(水)** 指定校推薦進路希望調査
(第2回)提出締切
- 28日(月)** 校内選考結果発表[第2回]
(指定校推薦)



【国語】「**高校漢文**」学校購入。疑問に思ったことを調べると、大抵のことは載っています。
「古文単語 330」これも学校購入。多くの先輩が挙げていました。
「得点奪取現代文」間違い解答例などが載っていて、「何をどう書けばよいか」がわかる定番の参考書。
【数学】「青チャート」「黄チャート」受験に必要な知識・技能のほとんどが網羅されている！
 これだけでも、ほとんどの国公立は対応できる。ちなみに**「4STEP」**も多くの先輩が挙げています。
「一対一の対応」は、課外で使っている先生オススメ。
【英語】学校で購入した単語帳をとことん覚え倒す！長文では**「やっておきたい英語長文」**、英作文が必要な人は**「英作文のトレーニング」**など有名です。コツコツ進めよう。
【社会】「一問一答」や、「**ゼロからわかる**」「**面白いほど点が取れる**」など、さまざまな本が挙げられていましたが、一番多かったのは**「先生のプリント」**。
【理科】(基礎科目)学校購入のもの！きちんとやれば入試対策は完璧！(基礎なし科目)学校で使う問題集をやり、そのうえで各自に合った二次対策用の問題集を探して取り組もう。**「自分が良いと思うもの」**をやりこむことが一番。

出願に向けて、確認しておこう！

☆入試スケジュールや入試科目などに変更点はないでしょうか？今年度は、コロナウイルスの関係で、6月、7月ごろに大学がいったん発表した内容に**変更が生じている可能性**があります。7月末には、訂正後の令和3年度入試要項が各大学のHPにアップされているはずですが。見た皆さんが以前見たときから変わっている可能性がありますので、今のタイミングで必ず再チェックしましょう。

本番の入試…克服すべき最大の敵「緊張」

☆当たり前だと思うのですが、入試には**「教科書で一度は勉強したこと」**が出ます。それを効率的に復習できるのが模試の問題であり、入試本番では、過去に解いた模試の類似の問題が必ず出てくるはず。模試の後、①時間をおいてもう1、2回解いてみる ②気づきをノートにまとめておく など、**「記憶にとどめる」**工夫をすることです。本番で最悪中の最悪なのは、「これ、解いたことあるのに忘れた…(涙)」という事態。泣くに泣けない。
 ☆直前プレや個別大学模試は、チャンスがあればどんどんチャレンジしましょう。コロナで難しいけれどできることなら「外部で受験する」ことをお勧めします。学習内容に関しては、いくらでも練習できます。しかし、**「緊張」**だけは練習できません。慣れきった学校を飛び出して、外部の人に混じって模試を受けることは「緊張の練習」になるのです。

どの教科も、学校で購入している参考書・問題集は、数多くの中から教科の先生たちで厳選した逸材。じっくりやり込んで土台をしっかりとつこう。

面接・小論文対策と学習を同時進行！

☆この時期、総合型選抜や学校推薦型選抜を受験する人は、面接や小論文対策に追われがちになります。総合型選抜の試験日は例年より遅く10月～11月、学校推薦型選抜に至っては11月後半です。合否が分かってから一般選抜の準備をしては、到底間に合いません。一般の勉強を主に進めながら、その中にうまく面接・小論文対策を盛り込んで、同時進行を進めましょう。
 ☆面接試験は、コロナ関連で、実施の仕方が変わっている可能性があります。
 ①例年通り対面で行う
 ②自宅からオンラインで行う
 ③試験場に行き、そこから大学とオンラインで行う
 というように、各大学が実施の方法を考えています。「リモートだと、あらかじめ原稿作っておいて読めばいいんじゃない？」というよからぬ考えが浮かぶかも。しかし、大学の人はこうおっしゃいました。
「きちんと自分の言葉で語っているか、作った原稿を読んでいるだけか。それは顔を見て話を聞いていたらわかりますよ。」
 誠実な人柄はリモート面接でも伝わるのですね。